

(第3種郵便物認可)

人生に論語 清く正しく

古代中国の思想家・孔子の教え「論語」に魅せられた元熊本市職員・松崎昇さん(69)は、市国際交流会館の職員時代に企画した「松崎昇さん(69)の講話」を通じて、多くの人に論語の魅力を伝える活動を行っている。3月には、学生らに無料で教える講座を始め、「人間関係や生きる上で役立つ言葉が詰まっている。若者に『徳』(美しい人間性)を磨いてもらう機会にしたい」と思いだ。

2月下旬の平日、熊本市内のカルチャー講座。10人ほどの受講生と松崎さんが、論語「陽貨篇」の一部を朗読していた。難しい言い回しや漢字が並ぶ論語だが、ジョークや時事ネタを交えながら時折笑いを誘いつつ、



元熊本市職員・松崎昇さん(69)



カルチャー講座で論語について解説する松崎昇さん＝熊本市中央区

若者向け講座開講へ「生活、仕事に役立つ指南書」

名になるためか」と交錯していた松崎さんの心に、重く突き刺さる言葉があった。

その後、仕事の傍ら約10年かけて学び、入門書の出版も果たした。「礼有らば、四海の内、皆兄弟なり」「礼を大切にすればみんな兄弟姉妹の」の一節に、姉妹を欲する一人の子の美娘のエピソードを交えるなど、日常に即した親しみやすさを意識。「論語は2500年読み継がれた超ロングセラー。だからといって単なる古い書物でも宗教でもなく、日常生活や仕事に役立つ実践的な指南書だ」と松崎さんは力説する。

カルチャーセンターや公民館講座などで講話を務めるようになり、現在は6講座で約50人の受講生を受け持つ。高校などにも依頼があれば出向している。

今月からは、毎月第1土曜(3月11日)に、中学生から大学生を対象とした無料講座「あしたのための青少年論語塾」を始める。中央区の市国際交流会館でおおむね1年間。企業や学校などの団体は、単発で無料の出前講座も受け付けている。(河北希)

1時間半講義した。松崎さんの講話との出会い

は、市国際交流会館の職員時代に企画した松崎昇さん(69)の講話を通じて、多くの人に論語の魅力を伝える活動を行っている。3月には、学生らに無料で教える講座を始め、「人間関係や生きる上で役立つ言葉が詰まっている。若者に『徳』(美しい人間性)を磨いてもらう機会にしたい」と思いだ。

2月下旬の平日、熊本市内のカルチャー講座。10人ほどの受講生と松崎さんが、論語「陽貨篇」の一部を朗読していた。難しい言い回しや漢字が並ぶ論語だが、ジョークや時事ネタを交えながら時折笑いを誘いつつ、

名になるためか」と交錯していた松崎さんの心に、重く突き刺さる言葉があった。

その後、仕事の傍ら約10年かけて学び、入門書の出版も果たした。「礼有らば、四海の内、皆兄弟なり」「礼を大切にすればみんな兄弟姉妹の」の一節に、姉妹を欲する一人の子の美娘のエピソードを交えるなど、日常に即した親しみやすさを意識。「論語は2500年読み継がれた超ロングセラー。だからといって単なる古い書物でも宗教でもなく、日常生活や仕事に役立つ実践的な指南書だ」と松崎さんは力説する。

カルチャーセンターや公民館講座などで講話を務めるようになり、現在は6講座で約50人の受講生を受け持つ。高校などにも依頼があれば出向している。

今月からは、毎月第1土曜(3月11日)に、中学生から大学生を対象とした無料講座「あしたのための青少年論語塾」を始める。中央区の市国際交流会館でおおむね1年間。企業や学校などの団体は、単発で無料の出前講座も受け付けている。(河北希)

名になるためか」と交錯していた松崎さんの心に、重く突き刺さる言葉があった。

その後、仕事の傍ら約10年かけて学び、入門書の出版も果たした。「礼有らば、四海の内、皆兄弟なり」「礼を大切にすればみんな兄弟姉妹の」の一節に、姉妹を欲する一人の子の美娘のエピソードを交えるなど、日常に即した親しみやすさを意識。「論語は2500年読み継がれた超ロングセラー。だからといって単なる古い書物でも宗教でもなく、日常生活や仕事に役立つ実践的な指南書だ」と松崎さんは力説する。

カルチャーセンターや公民館講座などで講話を務めるようになり、現在は6講座で約50人の受講生を受け持つ。高校などにも依頼があれば出向している。

今月からは、毎月第1土曜(3月11日)に、中学生から大学生を対象とした無料講座「あしたのための青少年論語塾」を始める。中央区の市国際交流会館でおおむね1年間。企業や学校などの団体は、単発で無料の出前講座も受け付けている。(河北希)

新しい命 大切に育てたい



武蔵小の児童らが整備に取り組み、完成したビオトープ＝熊本市北区

北区・武蔵小にビオトープ

熊本市北区の武蔵小に2月28日、池や樹木を配置したビオトープ(生物の生息空間)が完成し、児童や地元住民らが祝った。ローソンの「緑の募金」が完成した。

を活用した国土緑化推進機構の学校環境緑化モデル事業。機構が毎年、全国の小学校を対象に実施している。2022年度には武蔵小が選ばれ、県内では同市の武蔵小と出水南小が助成(1校50万円)を受けた。

武蔵小は昨年度から校庭にあるビオトープ整備を始め、本年度はカエデやアカシヤを植樹し、池にろ過器を設置。児童らは定期的に清掃したり、池の魚に餌をやったりして世話している。

記念式典には児童ら約100人が参加。6年生の木村まやさんは「たっさんの人たちの協力で完成した新しい命を大切に育てていきたい」と話した。(樋口琢郎)

熊本城復旧の担い手を 育成向け研修会



飯田丸五階櫓台の石垣を積み直す様子を見学する参加者＝熊本市中央区

支える石工などの専門職の育成を目指す研修会が3日、熊本城の復旧工事を担当する熊本市中央区の飯田丸五階櫓台の石垣を積み直す様子を見学する参加者らと共に開かれた。専門職の不足は熊本城の復旧工事に大きな支障を及ぼす恐れがある。この日の研修会には、土木や造園業に従事する20〜60代の約40人が参加。市熊本城総合事務所が、熊本城の被災状況や復旧工事の流れなどを説明した後、石垣の積み直しが進む飯田丸五階櫓台で「築石の裏にこぶし」大の「べり石」を語る作業員が「積み直した後に

日、熊本中央区の城形苑で開かれた。専門職の不足は熊本城の復旧工事に大きな支障を及ぼす恐れがある。この日の研修会には、土木や造園業に従事する20〜60代の約40人が参加。市熊本城総合事務所が、熊本城の被災状況や復旧工事の流れなどを説明した後、石垣の積み直しが進む飯田丸五階櫓台で「築石の裏にこぶし」大の「べり石」を語る作業員が「積み直した後に

に石の高さが合わない場合など、1日でも直さなければならぬ。研修会では、積み直し作業の難しさについて説明すると、参加者は驚いた様子だった。

参加した造園業の松田空さん(24)は「知らなかった知識が多く勉強になった。石工は専門外の技術で自分ではできない不安もあるが、地元のため、熊本城の復旧工事に携わりたい」と意気込んだ。

来年度以降も研修会を開く予定。若佐康弘副所長は「復旧事業は長い時間を要するため、技術も引き継ぐ必要がある。若い人も中心に復旧工事を知ってもらい、現場を担う人材を育成するきっかけにしたい」と話した。(鬼束実里)



「防犯若武者ペアーズ」の退会式に出席した学生たち＝熊本市中央区

熊本市中央区の国立病院機構熊本医療センター付属看護学校で3日、卒業式があった。3年間の学びを振り返り、涙ぐやかな表情で学びを果した。

卒業生は新型コロナウイルスの感染拡大が始まった2020年の4月に入学。卒業するまで人の接点と避ける学校生活を余儀なくされた。この日の卒業式には、保護者や在校生も参加することができた。

4月から同病院の看護師として働く丸山望愛さん(20)は「オンライン授業になったり、クラスメートの顔が分からなかったりし、本当に看護師になれるのかと不安もあった」とつつ、「周囲の支えでここまで来れた」と謝意を示した。(志賀業里耶)

熊本市 市民語「田原坂」全国大会 2月26日、北区植木町の植木文化センターで開催された。西南戦争最大の激戦「田原坂の戦い」を題材にした市民語を後世に継承しようと、実行委員会(本條秀美委員長)が毎年開いている。県内外から182人が出場。グランプリに辻年(宇城市)の優勝。田浦豊子さん(30歳)が選ばれた。ほかの部門の優勝者は次の通り(敬称略)▽少年 綾垣瑞穂(大分県)▽青年 福田智俊(熊本市西)▽高校生 久原正次(同)▽高校生 水原賢次(福岡県)▽座敷唄 川邊美加(菊陽町)

●防犯若武者ペアーズ退会式 2月27日、県警本部で、防犯ボランティア団体ペアーズを合春で退会する学生ら10人に感謝状や記念品が贈られた。団体共同代表で熊本学園大4年の坂本優介さんは「経験を糧に、社会に出てボランティア活動に参加したい」と述べた。22年度は、自転車の鍵の二重ロックを中心と呼びかけた。団体は10年に結成され、大学生や専門学校生らが参加する。会員数は3月末で35人になる。

町屋 ワークスペースに 早川倉庫 来月から貸し出し



早川倉庫の2階に完成したワークスペース＝熊本市中央区

整備し、約30席を備えた。従業員の早川祐三さん(44)は「職種や年齢にかかわらず、多くの人が集まって刺激し合える場になりたい」と話す。

3日は「熊本のDXを考へ」と題したオープンイベントもあった。4日もある。

市が21年度に始めた補助事業。補助率は合計額の2分の1(限度額300万円)で、1950年以前に伝統工法によって建てられた木造建築物が対象。第1弾となった川尻地区の町屋は、1月から子ども食堂や地域住民の交流スペースなどとして利用されている。(樋口琢郎)

熊本市 大川小裁判のドキュメンタリー映画「トキイベント」 東日本大震災で被災した宮城県・大川小の裁判記録をまとめた映画が4日、熊本市中央区の映画館「D enkikan」で上映される。午後3時半から上映後、原告の遺族側が勝訴した裁判を担当し、映画に登場する齋藤雅弘弁護士(東京)が登壇。被災地と水俣市の交流研究などに取り組む熊本大大学院の石原明子准教授と、裁判の意義や防災の重要性などを話す。映画は同館で9日まで公開中。

熊本県からのお知らせ 県政情報は 熊本県 検索

水とみどりの森づくり税

～暮らしを支える森林を守り育てる取り組みのご紹介～

森林は、水を蓄え災害を防ぐなどの恩恵をもたらすことによって、私たちの暮らしを支えている県民共有の大切な財産です。県では、この大切な森林を守り育て、次の世代へ引き継いでいくため、「水とみどりの森づくり税」を活用して、さまざまな取り組みを進めています。

- 1. 県民の安全安心を守る森づくり**
手入れが行き届いていない森林において、間伐(かんばつ)などの適切な整備を行い、土砂災害などを抑えることができる健全な森づくりを進めています。
- 2. 次世代につなぐ熊本の森づくり**
健全な森林を次の世代に引き継ぐため、伐採後の植林への支援や、森林に被害を及ぼすシカの侵入を防ぐネットの設置などの取り組みを進めています。
- 3. 森づくりを進めるための基盤づくり**
森づくりの基盤となる、地域の森林を守り育てる人材の育成や活動支援などの取り組みを進めています。
- 4. 森に触れ、親しみ、みんなで支える意識づくり**
学校への木製品の導入や森林環境教室の開催など、子どもたちをはじめとする県民の皆さんが木に親しみ、森林の役割を理解していただくための取り組みを進めています。
- 5. 森の恵みを活かす意識づくり**
県産木材を活用した建築物などの整備による景観づくりを支援し、森林の恵みを生かす取り組みを進めています。

みんなで森を守るモン

熊本県水とみどりの森づくり税 検索

問い合わせ先 森林整備課 TEL096-333-2438

(公社)熊本県観光連盟

3/11(土)・12(日)「天草パールラインマラソン」限定企画!

096k × 天草パールラインマラソン × くまモン

あまくさ観光AR

プラス

「天草パールラインマラソン」のコース上やイベント会場で撮影を楽しめる!!

イラストになった096kのARフォトフレームと一緒に思い出を残そう!

現実世界と仮想世界を融合させたXRで「くまモンのパレード」が目の前に出現! くまモンと一緒に楽しもう!

詳細はコチラまで!

エピソード3 天草パールラインマラソン編

お問い合わせ先 | あまくさ観光AR事務局(熊本日日新聞社業務推進局地域創成部) TEL:096-361-3343(平日9:30-17:30)

期間 3/12(日)まで

会場 mio camino | 道の駅 天草市 AMAKUSA | イルカセンター

「アマクサXR水族館」で空飛ぶイルカと一緒に写真や動画を撮影しよう!

現実世界と仮想世界を融合させたXRを活用した、未来の水族館「アマクサXR水族館」が期間限定でオープン! 空を雄大に泳ぐイルカを楽しもう!

*営業日や営業時間は各店舗にお問い合わせください。